別記（二）

暴虐極まる大東工業株式会社　深夜争議団員を襲ひ荷物自動車で拉致す!!

市外尾久町上尾久大東工業株式会社は社長佐和秀桂氏副社長田島恩氏事務取締役片山光次氏の経営で百五十万円の資本を有しながら、其のケチな事は町内で呆れる程で、昨年町の祭禮に五円の寄附しかしなかった事から町内の非難を工場内にカツギ込まれて大騒動を引起した程で、職工は奴隷の如く酷使されて来た。

工場法を無視して十四五才の幼年工に深夜業をさす

作業の閑散な時は毎日曜日、祭日迄も休ませ、繁忙となるや二月も続けて一日の休みもなく酷使し一銭の歩増しも付けず工場法を無視して幼年工に十時十一時迄も深夜業をさせ監督の手前通勤表面をゴマカし又当局も之を当然の如く黙過してゐる。

労働者の団結権を蹂躙せんとす

無謀なる会社は職工の組合組織を極度に弾圧せんとし、タマタマ元共産党系評議会幹部渡辺なるものが組合を裏切って会社に忠勤振りを示すや、之を悪用して監督とした。会社の威を藉る渡辺は益々横暴を極め彼の為めに或は馘首され或は転勤されたるものが幾人あるか知れない。現に事務所内に於ても彼の排撃の的はゴウゴウたるものである。

時たまたま全職工が親和会なる[illegible]組織された[illegible]労働組合破壊の前提となし常に之が破壊の機会を狙[illegible]を切って陥れんとした。之を憤慨して彼の排撃を口にしたる職工達[illegible]に馘首した。此の暴虐に憤慨したる二職工も亦遂に彼の毒牙にかかり馘首[illegible]た。

此の不合理なる馘首に義憤を抱き全従業員は代表者をもって敢然に立って三名の復職、一ヶ月二度は必ず公休とすること、退職手当の確立、等十五ヶ条の要求を提出し一斉に蹶起する事となった。

トラツクに暴力団を乗せ争議団員を襲ふ

狼狽したる会社は深夜暴力団を荷物自動車に乗せ争議団員宅を襲ひ或は騙し、或は恐喝し、無理矢理にサラツて行く様な支那の馬賊か強盗に等しい!!! 之れに対して家族の者達は却つて見張りの争議団員をウムと言はせず横暴にも会社に行け、争議団に行くと監獄にやるぞとおどしつけ全く驚くべき家内圧迫振りだ。

諸君! 今や労働者が連続して自己の地位の向上と待遇の改善を叫ぶは全島民の認むる所にあらずや。

会社の争議団切崩しに対抗して見張りをするのも亦当然の処置にあらずや。我等は虐げられし労働者の解放の為めに飽く迄戦ふ。

茲に争議の真相を發表し全市民、全国民諸賢の公正なる批判に訴へ、深き同情を乞ふものである

昭和六年五月

大東工業株式会社争議団

日本労働総同盟　東京鉄工組合